

1 2013年度の事業総括

	事業	内容
成果	情報共有	2013年4月～情報共有の書式も新たに見直し、日誌以外でも医療的な部分を含め、特記的な内容を記載して閲覧できるようにした。この点に関しては一つの成果として挙げられるが、情報を共有するための日々の記録に関しては今後の課題である。具体的にはケアプラン・介護計画書に沿った記録が残せていないことが課題。
	利用者間の関係性構築	2013年は9人の利用者のうち、5名の方がご逝去される中で利用者の入れ替わりが著しい年でもあった。そんな中、少しずつ関係性も築けていると感じる。具体的な場面では食事前に「あの人呼んでくるわ」とお部屋に声をかけに行かれる方、リビングや廊下のソファでゆっくりと話をされている場面がみられるようになった。
課題	環境整備	お部屋や共有スペースの清掃強化。⇒業務改善も視野に入れて。清掃を強化すると同時に、お部屋及び、共有スペースのしつらえや空間作りを考える。特にお部屋においては、自宅の環境に近づけられるように、職員の動線でなく本人のこだわりや思い入れのあるものや空間を大事にする。
	リスクマネジメント	2013年度はリスクマネジメントにおけるシステム作りを確立することはできなかったことが大きな反省点である。2014年度は新体制のもと、リスク委員を中心に、再度システムの確立を目指す。
	広報	以前からの課題でもあったが、行事などの呼びかけのため、地域への広報活動や町会役員会へのおたより配布は継続して実施している。しかし、更に広範囲での広報を考えると、ホームページの定期的な更新をしていくことで、いつでも誰でも閲覧することができる。行事等の報告ももちろんのことだが、それ以外でも、であいが何を発信していきたいか、を考え更新することが必要。

2 2014年度の事業目標

主課題	本人が望む暮らしを実現するためのツールと、ツールを活かしていくためのシステム作り
項目	内容
品質向上	現状、必要な決定事項等の情報がきちんと下りていなかったり、下りていても実施されていないことも見受けられる。様々な原因の中で、早急に取り掛からなければならないのが、支援計画書の更新と作成。本人をしっかり見たアセスメントのもとに作った計画に沿って支援がなされているか、を評価し次に繋げていくこと。評価する為には記録に残すことと、確認する人が必要。記録に関しては決して全て統一がされたケアを目指すわけではなく、現状起きている事実を共有することが目的。人に関しては、基本的には常勤が担っていけるようにしていく。 グループホームは24時間の暮らしを支えているので、使用する様式も24時間軸になっているライフサポートワークへ移行していく。これによってその人の暮らし全体をみていくことを目指す。

3 月別事業計画

月	事業・行事等	会議	研修計画(内部・外部)
4月	花見	常勤会議	※未定
		2014年度第1回地域運営推進会議	
5月	開設記念	常勤会議	部門内研修「接遇」
	母の日		
	御田植祭		
	夏季人事考課		
6月	父の日	常勤会議	※未定
		2014年度第2回地域運営推進会議	
7月	七夕	常勤会議	部門内研修「感染症」
8月	町会盆踊り	常勤会議	※未定
	外部評価・情報公表	2014年度第3回地域運営推進会議	
	サマーカーニバル		
9月	敬老の日	常勤会議	部門内研修「認知症理解」
	お月見		
	品質向上月間(アンケート)		
10月	外出企画	常勤会議	認知症介護実践者研修
11月	冬季人事考課	常勤会議	部門内研修「介護技術」
			じんけんのつどい
12月	クリスマス会	常勤会議	兵庫県宅老連研修第1回
	町会餅つき大会		
	忘年会		
1月	新年会	常勤会議	部門内研修 「リスクマネジメント」
	正月「初詣」「どんと祭り」		兵庫県宅老連研修第2回
2月	節分	常勤会議	兵庫県宅老連研修第3回
	バレンタインデー	2014年度第6回地域運営推進会議	
		利用者ケース会議	
3月	ひな祭り	常勤会議	部門内研修 「プライバシー保護」
	お花見		公開講座
	ホワイトデー		兵庫県宅老連研修第4回
	ふらっと楽しむ住吉		